

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：健康・スポーツ科学科

資格：教授

氏名：田中 新治郎

研究分野	研究内容のキーワード
保健体育科教育学	保健体育科 体育科 カリキュラム 運動文化 学習集団 グループ学習 授業研究 教材研究 教育方法
学位	最終学歴
教育学修士, 教育学士	広島大学大学院 教育学研究科 教科教育学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. からだ育てと運動文化	1997年5月20日	実践記録集。体育科の役割を「からだ育て」と「運動文化の継承発展するための基礎的な技能と認識」と捉え、典型的な実践の事例を挙げ解説している。
2. 子どもと共に生きる体育の授業	1997年12月	体育実践記録集。教育実践の課題を科学と生活の統一と捉え、教科と教科外にまたがり子どもと教師の育ち合いの過程を提起している。
3. ボール遊び・ボール運動の指導と学習カード	1996年7月10日	小学校第1学年から第6学年までの「ボール遊び」「ボール運動」領域の指導内容を例示し、指導方法として「学習カード」といった授業用の学習資料を例示した授業指導書
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. シンポジウム講演：第2回武庫川女子大学健康運動科学研究所シンポジウム	2012年9月19日	『ライフステージと運動』というテーマに沿って「学齢期の運動と体育」と題して講演を行った。学齢期の体育指導においては性急に競技スポーツに当てはめてはならず、これを指導する際には競争形態に変更修正を加えて近似的に接近することを主張した。
2. 講演講師：第46回徳島県高等学校教育研究会保健体育学会「体力向上に向けた体育学習の取り組み」	2011年8月23日	体力向上に向けた体育学習についてスポーツ種目の技術特質を明確にし、系統的でスポーツ科学の成果を生かした技術指導の必要を述べた。
3. パネルディスカッションパネリスト：武庫川女子大学記念シンポジウム	2010年12月5日	「健康・スポーツ科学のリーダー養成」のテーマに沿って保健体育科教員の養成について持論を述べた。単一の専門領域に固定されることのない複数の領域を渡り歩く水平的な専門性、対象の変化に柔軟に対応できる適応的熟達がこれからの体育科教育のリーダーに求められる資質であると述べた。
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 宮城の体育実践	共	2012年4月20日	創文企画	第3章5節「矢部智江子さんの実践について」149-150頁、第4章1節「山口正富さんの実践について」169-170頁、第4章2節「制野俊弘さんの実践について」179-180頁、久保健 田中新治郎（他20名）
2 学位論文				
3 学術論文				
1. パスから始めるフラッグフットボール	共	2010年02月	創文企画・たのしい体育・スポーツ	菅原瑤子 小学校5年生のフラッグ・フットボールの実践記録とその分析である。従来、ランニング・プレイを指導の導入にする系統は多く紹介されているが、それを

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				パス・プレイから始めたところ、パッサーとレシーバーの関係がその後の学習活動の集団性を高め、技能習得に効果をみた。指導計画段階から参画し、共同でつくりまとめたものである。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 基盤研究 (C) 新規		2011年		スポーツ文化に関する学習内容とその指導方法の開発

学会及び社会における活動等

年月日	事項